

～ご参加の皆さまへお願い～

- ・市内探訪では、集合から解散まで統一行動となっています。
- ・歩行中は一列又は二列で歩き、道路横断時などは交通安全に十分気を付けてください。
- ・急坂、石段などありますので、足元に注意してください。
- ・昆虫や植物などは採集しないで、カメラやスケッチに収めてください。
- ・地元の方々のご理解・ご協力をいただき、神社や寺院などに伺いますので、失礼のないように注意してください。
- ・弁当や菓子などのゴミは、各自お持ち帰りください。
- ・記録写真を撮る場合がありますので、ご了承ください。
- ・アンケートを取る場合がありますので、その時はご協力ください。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用・検温等にご協力ください。



私たち市民解説員は、ふるさとあきる野を愛し、地域の自然・歴史・文化の再発見に努めるとともに、これらを市民の皆さまや市外から訪れる方々に紹介し、まちづくりと生涯学習の推進を図る学習ボランティアです。
あきる野市は、自然や遺跡、文化財の宝庫です。
美しく恵まれた環境のもとで、地域の皆さまと一緒に学びあい、活動できることを嬉しく思っています。
今後ともよろしくお願いいたします。

企画・実施 担当市民解説員
加藤正昭・吉野清治・在原久雄
岡野要一・小熊孝彦

東京文化財ウィーク2022・あきる野市参加企画事業

市民解説員が案内する市内探訪

「あきる野の巨樹と古社・古刹巡り」 ～一度は行きたい あきる野の 見ても見あきぬ溪谷美～



市指定天然記念物：深沢の山抱きの大カシ
樹高：約20m
幹周：約6.5m

探訪巡路

JR武蔵五日市駅前集合（9：00）☆⇒受付⇒
バス（武蔵五日市駅⇒瀬音の湯経由⇒軍道）⇒①五柱神社⇒②加茂原⇒
墨竹☆⇒③三嶋神社⇒④戸倉しろやまテラス・屋敷☆⇒
⑤光厳寺⇒⑥佳月橋⇒⑦広徳寺☆⇒
JR武蔵五日市駅到着・アンケート回収・解散

令和4年11月9日
あきる野市 中央公民館

探訪場所の簡単な解説

参考資料：五日市町史・無漏西游他

① 五柱神社

所在地：あきる野市養沢1392番地
祭神：久々能智命（くくのちのみこと）
迦具土神（かぐつちのかみ）
速安姫命（はややすひめのみこと）
金山昆古命（かなやまひこのみこと）
弥都波比売命（みずはひめのみこと）

創立：不詳
由緒：不詳
末社：境内末社山ノ神社
例祭：9月29日
境内地：166坪
旧社格：無格社
あきる野市指定天然記念物：スギの巨樹
樹高：約52m
幹周：約8m（地面から1.2mの高さで）
樹齢：400年前後と推定



⑦ 龍角山広徳寺（臨済宗建長寺派）

所在地：あきる野市小和田234番地
開創：応安6年（南北朝時代1373）
又は、明徳年中（1390～93）
開山：建長寺70世心源希徹禅師
開基：正応長者（正応了受居士）
本尊：聖観世音座像
沿革：北条氏康 中興の開基
徳川家康 寺領40石の御朱印
市指定文化財：

- ・総門・山門・木造十六羅漢像
- ・本尊聖観世音座像
- ・後北条氏虎印文書

都指定天然記念物：タラヨウ・カヤの巨樹



左の写真は
タラヨウ
樹高：約19m
幹周：約2.4m

下の写真は
イチヨウ



② 加茂原の地名

伝承：俗にカモツバラ（加茂原）という。
吉志火麻呂（きしのほまろ）はこの住人か？
「日本書紀・中巻第3話」
（悪逆の子、妻を愛し、母を殺さんと謀り、
現に悪死を被る縁）
武蔵国多摩郡鴨の里の住人、吉志の火麻呂は、
聖武天皇の御世に防人に召され、母を伴って筑紫へ赴いた。
火麻呂は家に留いた妻恋しさの余り、母が死ねばその喪に服する為、国へ帰れると思いい、母を偽り山へ連れ出し、殺そうとした。母は日頃信心深く慈悲深い女性だったが、息子の行動に驚き嘆いた。火麻呂が太刀を抜き母を斬ろうとしたその時、大地が裂け、火麻呂はその裂け目の中に迷い込んだ。母は息子の髪をもつて助けようとしたが及ばず、母の手に髪のみが残った。
⇒親不幸に直ちに仏罰が下るといふ話

③ 三島神社

所在地：あきる野市戸倉414番地
祭神：戸倉本郷の鎮守社
大山祇命（おおやまつみのみこと）
八千戈命（やちほこのみこと）
大己貴命（おおなむちのみこと）
少名彦名命（すくなひこなのみこと）
倉稲魂命（うらのみたまのみこと）
創立：社伝では天徳2年（958）
伊豆の三島神社を勧請したと云う
由緒：長祿年間（1457～60）の小宮上野介、天文年間（1532～55）の大石定久が戸倉城の鎮護の社として崇敬したとの伝承。
明治6年村社、明治33年拝殿改築
境内末社：武多摩神社
神職の宮本家で、応永年間（1394～1427）活躍した、武州南一揆及び後北条氏に関する古文書14通を所蔵している。

④ 戸倉しろやまテラス

所在地：あきる野市戸倉325番地
沿革：平成25年に139年の歴史を持って開校となったあきる野市立戸倉小学校の廃校を活用し、平成28年4月9日、地域と都市の交流を目的とした「体験」「宿泊」「飲食」「展示」の機能を持った滞在型観光施設
秋川溪谷戸倉体験研修センター「戸倉しろやまテラス」としてオープンした。
館内：地元の食材をいかしたメニューを味わうことができるレストランのほかアーティスト・イン・レジデンス事業による版画作品の展示や、秋川流域シオパーク認定をめざして活動しているあきる野市の、貴重な化石や地層などの展示もしている。

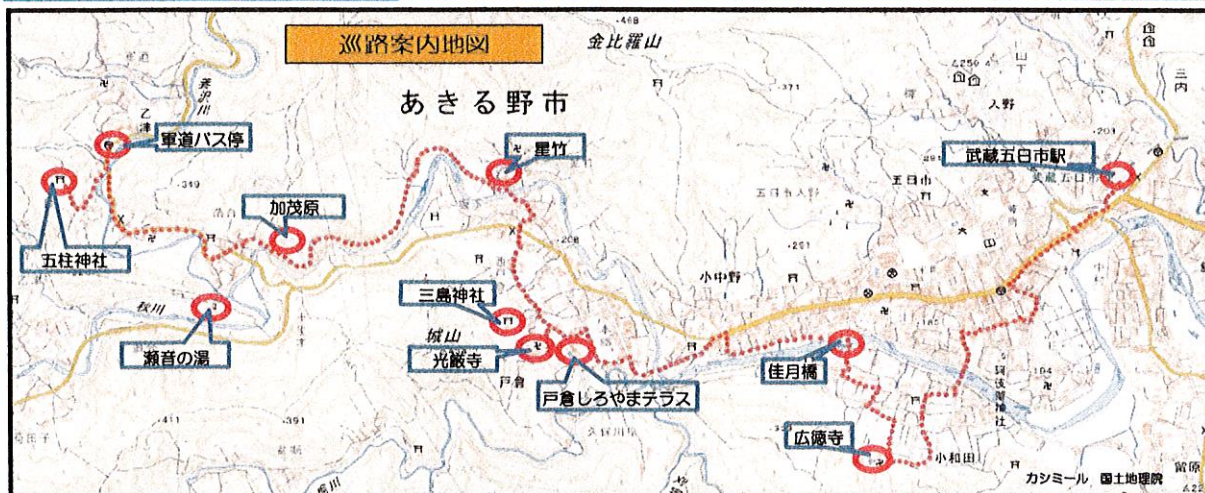
⑤ 鷲峰山光厳寺（臨済宗建長寺派）

所在地：あきる野市戸倉328番地
前身：富倉山慶雲寺・東大寺の良弁僧正が開いた天台道場
開創：建武元年（1334）
開基：足利尊氏
開山：正宗広智・古先印元禅師（建長寺38世）
本尊：釈迦牟尼如来像（都指定文化財）
康安2年（1362）仏日焰慧禅師明極楚俊の27回忌供養のため彫刻点眼された、法印運朝の作
準開基：足利基氏、延文元年（1356）七堂伽藍を整備。後光厳院より「光厳寺」の勅額を賜わる。
再開基：北条氏康、永祿10年（1567）再興、先規の通り寺領寄進
朱印地：徳川家康、天正19年（1591）寺領20石の御朱印
寺宝：天正2年（1574）記名の「大涅槃画像＝市指定文化財」
境内：ところいもの碑
都指定天然記念物：山桜の巨樹
樹高：約17m
幹周：約5.3m（地面から1.2mの高さで）
樹齢：400年と推定

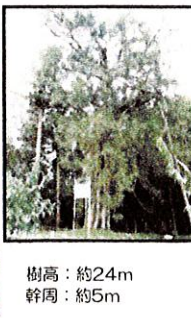
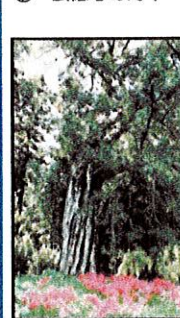


⑥ 佳月橋

所在地：あきる野市小中野4-6と小和田419-3に架かる橋
沿革：戦後の暫くは、川の流に木杭を打って横杭を結び、その上に厚手の一枚板を渡したとある。昭和26年 木橋を架設し、名付けた呼び名が「佳月橋」昭和57年 2代目完成、渡り初め前日台風により流失昭和59年 3代目完成
金田一春彦碑
「いつか いちどは 来たいと思うた 見ても見あきぬ あき川に」
経緯：国語学者の金田一春彦が秋川を詠んだ歌碑。春彦は生前数回にわたり佳月橋近辺を訪れ、地域の人から受けたもてなしのお礼



⑦ 広徳寺のカヤ



樹高：約24m
幹周：約5m

○ あきる野市内のその他の巨樹



右の写真は、深沢の千年の契り杉
樹高：約45m
幹周：約7.8m
樹齢：300年と推定

左の写真は、市定天然記念物
雨間地蔵院のカヤ
樹高：約20m
幹周：約4.5m

